



1.横タックロール入ったワンオフのソロシート。ショードなりアフターとの相性も抜群である。2.ワイセコのビッグピストンが組まれたエンジンにCRキャブを装備。軽快な走りが楽しめる仕様だ。3.ワンオフ製作されたメガホンサイレンサー。ビルダーの相川曰く、リバースコーンスタイルは排気効率も計算しての形状という。

1970年代頃、アメリカはサンフランシスコの若者を中心に流行したフリスコスタイル……。あくまでもストックサイズのフロントエンドを保ち、街乗りを念頭に置いたこの手のスタイルは、交通事情が類似している日本でも人気を博しているが、それはあくまでもH-Dをベースにしたカスタムに限ったこと。しかし、ここに見る一台を製作したシュアショットの相川拓也はそんな“フリスコ”のテイストをあえてSRという素材に取り込んだとのこと。結果はご覧のとおり。

文=有森弘忠 text by HIRO ARIMORI 写真=渡辺まこと photographs by MOKOTO WATANABE  
取材協力=シュアショット phone 043-445-0077 <http://www.sureshot.jp/>

**SURESHOT**

# FRISCO SR



ホイールはF19/R16のセットアップ。バランスの取れたシルエットだ。

なかなか“らしい”ムードに仕上げられている。

その要因としてハイライズのハンドルやスポーツスタータンクなどが挙げられるが、何よりその空気感を決定付けているのが、この一台が“走り”を意識している部分だろう。事実、この車両はエンジンを427ccに拡大した上、ピストンもWPC加工。確かに性能の追求には余念がない。

表面的な姿ではなく、創り手が求めたのは“フリスコスタイル”の走りと精神……だからこそ得た、この雰囲気か。

